

## Java が適正に設定されていない場合のエラー状況について

情報システム委員会

eLTAX のサービスを利用する際には、Java の実行環境を推奨された状態にしておく必要があります。

推奨される実行環境:Java Runtime Environment (JRE) 8Update45

…Java の最新バージョンである 8Update60 についても動作確認がとられています。ただし、Java のセキュリティの例外サイトに、「<https://www.portal.eltax.jp/apa/>」が登録されている必要があります。詳しくは eLTAX ポータルサイトをご参照ください。

この実行環境を満たしていない場合には、「利用届出の提出」「電子申請・届出」「電子署名の付与」の利用画面において、次のようなエラーが生じる可能性があります。

- ・ブラウザの画面が真っ白になる。(画面左上に×印が出る)
- ・「アプリケーションがブロックされました」のポップアップが表示される。
- ・「JRE をインストールしてください。JRE の推奨バージョンについては、eLTAX ホームページをご確認ください。」のメッセージが表示される。

また、Java7 等の古いバージョンを利用している場合、上記の不具合が発生せずに eLTAX のサービスが利用できてしまうことがありますが、eLTAX の動作保証となっておらず、セキュリティ上非常に危険な状態です。

以上の点にご留意頂いて、ご利用になっているパソコンの Java の設定等について、適切な対応をお願い致します。